

2024年6月7日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団
社会福祉法人 北九州市福祉事業団**障害者のスポーツの日常化に向けた実践プログラム開始(6/7～)****障害者スポーツの課題(施設&指導人材不足)解消の足掛かり
「北九州市モデルプログラム」をめざして**

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区 理事長:渡邊 一利 以下:SSF)は、本年度より北九州市福祉事業団(福岡県北九州市 理事長:永富 秀樹)と、障害者のスポーツの日常化に向けた実践プログラムを開始いたします。

障害者が日常的にスポーツに親しめる環境を整える上での最大の課題は、障害者専用スポーツ施設と指導人材の不足です。そこでSSFでは、2011年以来「地域の障害者専用スポーツ施設が拠点(ハブ施設)となり、近隣の公共スポーツ施設(サテライト施設)などとのネットワーク化を進めることで、施設・指導人材不足に対応すべき」(以下、施設ネットワーク化)と提言してまいりました。

北九州市には、地域の障害者スポーツの拠点となる障害者スポーツセンター「アレアス」があり、また日常的に障害者スポーツをささえるスポーツボランティアグループである「SKET」が存在します。(アレアス、SKETの詳細は文末をご参照)

今般、SSFの提言に基づき、北九州市福祉事業団がアレアスを起点に市内の体育館と公民館やコミュニティセンターをネットワーク化し、SKET所属のスポーツボランティアにサポートいただくことで指導人材を確保する取り組みを実践する運びとなりました。「北九州市モデルプログラム」とも呼べる本プログラムを6月7日よりアレアスにて開始しますので、報道各位にご案内いたします。

※本件に関する取材などの問い合わせは、SSFもしくはアレアスのみで受け付けております。

プログラム概要

【期間】2024年6月7日から年度内、全10回開催予定

【対象施設】

▼ハブ施設:障害者スポーツセンター「アレアス」

▼サテライト施設:門司体育館/城野体育館/八幡東体育館 ほか

【対象者】北九州市のその他社会資源の施設利用者から参加者を募る

■担当者コメント

「障害者スポーツ推進には、地域の障害者専用スポーツ施設がハブ施設となり、近隣の公共スポーツ施設や地域のその他社会資源とのネットワーク化を進め、スポーツ参加の受け皿を増やすべき」と提言してきました。北九州市には、提言を実現しうるリソースがあり、全国に先駆けて新しい取り組みにチャレンジする環境が整っています。このチャレンジを通じて、全国にモデルとなるような障害者スポーツの環境づくりができればと期待しています。

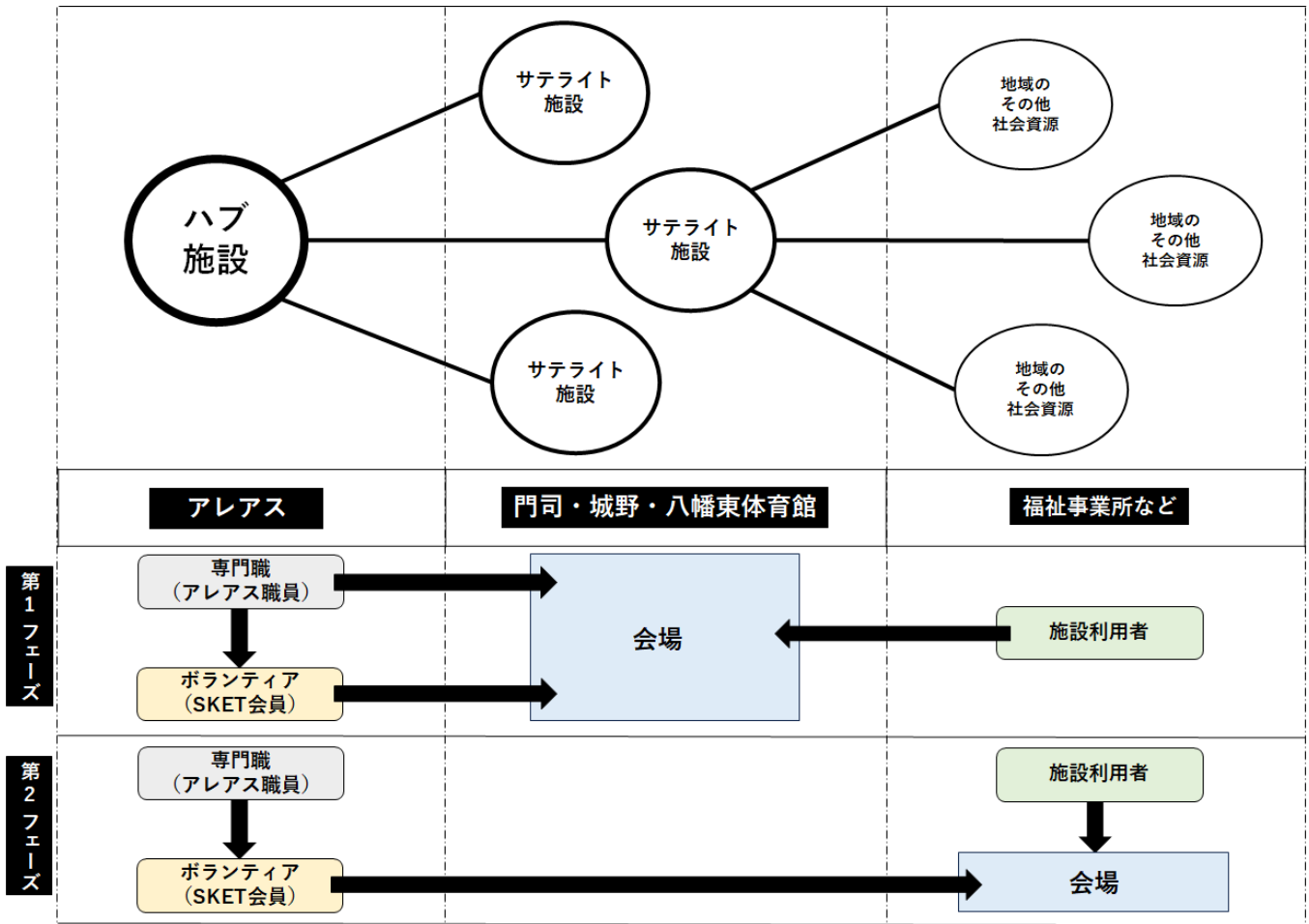
小淵 和也 (SSF スポーツ政策研究所 政策ディレクター)

【本件に関するお問合せ先】 ※お間違えのないようお願いいたします。

笹川スポーツ財団 広報 TEL: 03-6229-5300

北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」TEL: 093-922-0026

図：北九州モデルプログラムにおける、ハブ施設・サテライト施設・地域のその他社会資源とのネットワーク化



■障害者スポーツセンター・アレアス

北九州市における障害者スポーツの普及・振興や障害のある方の体力増強などを目的に設置された市内唯一のスポーツ施設。障害の有無にかかわらず、すべての地域住民が安心して気軽に健康づくりなどに利用できる。プール、トレーニング室、スタジオ、卓球室、STT（サウンドテーブルテニス）室、多目的室、会議室、体育館があり、障害者専用利用日も設けている。



【本件に関するお問合せ先】 ※お間違えのないようお願いいたします。
 笹川スポーツ財団 広報 TEL：03-6229-5300
 北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」TEL：093-922-0026

S ports	「スポーツ」
K now-how	「能力・知識・技術」
E njoy	「楽しむ」
T ie up	「連携する」

■北九州市障害者スポーツボランティアの会 (SKET)
 北九州市の障害者のスポーツ大会やスポーツ教室などにおいて、障害のある方のスポーツ活動を支援している。日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員の資格を持つ会員も多い。アレアスを拠点として市内全域で活動。組織名の「SKET」は、Sports (スポーツ)、Know-how (能力・知識・技術)、Enjoy (楽しむ)、Tie up (連携する)の頭文字をとったものである。

公益財団法人 笹川スポーツ財団

1991年設立。国民一人ひとりがスポーツを楽しむ社会「スポーツ・フォー・エブリワンの実現」を掲げ、「スポーツによる社会課題解決」を目的に研究調査活動を行う。主な研究テーマは、健康とスポーツ、障害者スポーツ、子どものスポーツなど。研究結果をもとに自治体やスポーツ推進団体と共同事業を実施し、政策提言を行っている

社会福祉法人 北九州市福祉事業団

1965年設立。北九州市社会福祉事業の推進を図り、広く市民福祉の向上と増進に寄与することを目的として市が設立した社会福祉法人。児童福祉、障害福祉、高齢福祉など多岐にわたる分野の専門家が属し、総合療育センター、特別養護老人ホームかざし園、保育所、児童館など多数の施設を運営。一人ひとりが心に描く幸せを大切に、笑顔あふれる社会づくりに貢献している。

【本件に関するお問合せ先】 ※お間違えのないようお願いいたします。
 笹川スポーツ財団 広報 TEL : 03-6229-5300
 北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」TEL : 093-922-0026